参考

渡邊洪基松島之議

3-1533

0206

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

渡邊洪基松島之議

稿本

3-1533

0207

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十三号

松島ノ儀

松島ト竹島即チ韓名鬱陵島ヲ朝鮮ト倭トノ一島二名ナルカ如クト雖モ田敬義カ著ス全森謙ナル人ノ書ト隠岐国松島ノ西ニ位スル一島ノ西ニ位スル又四十里許北方ニ一島アリ名ヲ竹島トカ小ク又伯州米子ヨリ竹島近海ニ道程百四十里許アリ米子ヨリ出雲ヲ経テ隠岐ノ松島ニ至ル竹島ハ僅ニ竹島ヲ到ルアリ但隠岐ノ福島一名西郷ヨリ松島近海ニ道程六十里許松島ヨリ竹島ニ四十里許ト云ヘリ又竹島ヨリ朝鮮ニ海上道程四十里許ト云ヘリ況ンヤ享保五年若屋彦海ヨリ一者ヲ遣ハシ一時且者、竹島ニ渡航シ一時且者、竹島ニ渡航シ一時且者、竹島ニ渡航シ

俄百二十九度五十七分北緯三十七度五十分ノアルゴナウト即竹島ト題シテ書ヲ置ク魯西亞ノ地圖局ノ図ニモ同處ニ之ヲ記シ置ク又金森謙二郎ノ著ス竹島図説大日本国大凡十五里トアリ又戸田教義ノ図和船ノ測量ヲ信ヲ以テ小ニ二十五町トアリ（此出入ノ次第ハ後ニ考ヘル）松竹島ノ図ハ多ク竹島ノ図図ト異ノ事ナシトスルトモ図中南隅一里ナル図図ノ一島ヲ節ヲ是ヲ人島ヲ是ヲ一図ニ就テ測量ヲ以テ陸岐嶋ト松島竹島朝鮮ノ距離凡ソ等分ナルヘシ松島竹島ノ二島ヲ一島トスルトモ孤島ノ外国ニ況ヤ隣国ニ微ナルヘシ英国ノ諸国ニ對島島ヲ以テ相鮮ノ色ヲ一倣ヒ赤図ニ日耳曼ゴタスチールスノ図ニ對図ヲ以テ日本色ヲ一ロシアイヒンノ地理局図ノ如ク日本色ヲ一松島竹島ヲ朝鮮色ヲ以テ英佛ノ諸図ヲ以テ朝鮮色ヲ一ニ別既ニ日本版図ニ初遠ヲ示ス所ノ松島竹島

（唯対図ノ高サ竹島ノ半ノ如クニシテ松島ノ半ノ如クニシテ大小ノ差図ノ差ヨリ竹島ニ比スレハ一ツニシテ且朝鮮ノ海ニ竹島ノ実像ヲ示ス如ク）

外務省

ヲ色ヲ変セス即チスチールノ図ニ竹島ニ況ンヤ松島ヲ竹島ヲ以テ佛ノ図ニ倣ヒ図ヲ分ツ小島ハ日本ノ図ヲ見做シ分ツ命一信州図ト相鮮ヲ図ノ図ヲ分ツ小島ハ四等府等事ヲ好ムヨリ竹島ヲ以テ唯彼地図ヲ所属島ト均シク其他ノ遠近ヲ分ツ朝鮮ト僅與ヲ雖ト

一松島竹島二島ヲ松島ハ竹島色ヲ方ヲ以テ朝鮮ハ日本ニ属シ朝鮮又異論ヲ唱ヘ主島ハ松ト日本ト朝鮮ノ中間ニ位シ一松山陰ヨリ朝鮮慶尚道ノ興府即チラサレ島港トノ航路ニ当リ長崎ヨリウエフスト陸路四百九十里ノ近ツキ其里程ハ西洋ノ海路ニ当リ和ト今英吉利ノ頻リニ注目スルヨリ而シテ我図ノ居ル所ヲ知ルヲ一外務省ノ命ニ応シ松島竹島二島一嶼ノ事判ル所ノ朝鮮ト為ス者ヲ知ラスト雖モ若シ外ヒノ

3-1533
0209
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

同じく又雲南より知らんと欲する事
陸路ハ如何之御解と存ぜん欲又外国と往来
する用ひすと思ふ事等ハ訪はる 汝意度基迄

外務省

3-1533

0210

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十二号

松鴻ニ関スル議

昔者竹島ノ記事曖昧説多クシテ松鴻ノ事説論スル者ナシ而テ今者人松鴻ニ嘗ヒテ二島地ヲ命シ此二島地一鴻而名ヲ二島地ト称セリ紛ヒ初帰甚タ非ラス決スル者ノ朝鮮ノ蔚陵島トシ幕府偷安ノ議ヲ遂ケ彼ニ委ス故ニ此訴訟カス彼竹島ヲ指ス者ハ

外務省

松島ヲ指ス者竹島ヲ指セハ彼ニ属シ竹島ノ外ニ在ル松島ヲシハ我ニ属セサルヲ得サルモ少ク決論スル者無シト雖モ松島ヲ指ス者我国ト朝鮮トノ間ニ住シ長崎ヨリ海路五百英里ヲ隔テ彼ニ接地セサルヲ以テ彼ニ接地セサル所ノ道ニ常ニ多クシテ極メテ要地ト為シ連絡此ニ侵ス英国ノ如キ甚タ和船ヲ出没スル者ニ夫ニ国ノ部分ナルヲ以テ之ニ多少ノ注意無ク丁ラス彼国ナルヲ以又保護ヲ加ヘサル可ラス況ヤ他国家ニ於ケル之ニ注意セサルニ決辞ナキヲ

3-1533
0211
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

如何セン然ラハ則チ領主ノ一島ノミ諸書ニ
就テ案スルニ竹島洋名アルゴナウト鳴ナル者ハ
全ク鳥有ノ者ニシテ其形況デラセ島ナル者ハ
本来ノ竹鳴即チ蔚陵島ニシテ我形島
ナル者ハ洋名ホルネウトロックスナルカ如シ然ルトキハ洋
客竹島ノ語ニ形鳴ト若シ更ニ竹島ナル
者ヲ想記セシ者ノ如シ而ヲ此ホルネウトロックス
ノ元国ニ属スルハ各国ノ地図皆然リ他ノ
二嶋ニ至テハ各国其説ハ所ヲ同フセス亦
国論又確実ナシ是実ニ其他ノ形勢ヲ
察シ其所ニ属ノ地ヲ定ノ而テ其責ニ任
スル所ノ両国間ニ定メサル可ラサル者ナリ固ヨリ
先ツ島根縣ニ照会シ其意ヲ聞ノ例ヲ
紀シ保セテ和秘ノ派シテ其地勢ヲ見
若シ彼既ニ著手セハ其宰臣ノ模様ヲ
実本ニ然ル後ニ其方略ヲ定メント要ス
清ニ連ニ探リテ論スル者アラン事ヲ伏望ス

涼宮法基之

外務省

第九号

鄙生嘗て瀬脇君の露港雜誌武藤氏の同港記聞を閲見し且其景況等傳聞するに殊更感慨興起せるの条件を即ち我が皇國西北の屬嶋松島あるとのあり熟〻惟みるに今や南國の際日に蹙り萬事に進み月に隆盛に赴く各國の交際日に寡事に進み月に隆盛に赴く に從て國事百般都て冗費を勢的に國產の輸出といまさ盛大に進むを以て國債を亦解消するに至らんと嗚呼これ全國一般の慶慰にして也に遑 超せる大患あり是を掃ふを冒國強弱に在り冒 強の基礎を仁恤を施行し萬民獲事に奏力し物

產を興隆して國家の稗益を計るにあり其事を行ふ我又緩急前後の別ある事能はざる故に鄙生從來此に着目し日夜心膓を碎き致すとして真要務を索覓し國家多幸の一に報いんと欲すれども如何せん極才に肖其微力にして更に獻り為す所なし即今武藤氏松島の建白を熟閲するに其着手し順序以往し方向着〻至まり盡せりと云ふ感〻実に方今の急務にして極有益の事業なり一日も遅くるれば一日の損害を生ずるに至らんと謂先ずる時を人を征を征の南方に

3-1533
0213
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

る小笠原嶋のめさを既に着手し期を待失する
に似たり而して此島嶋に比較されハ松島を一
層の要島なれハ速に せざんを省慮ひ何
と為さは小方なり来國人の魂候競鑛に臨らん
事を痛歎爾を及ハ為ひ仰き願くハ
同氏之建議貴時之英斷を以て出管 御裁用且
速に御着手被為在度と竊に企望仕たる次第
国より早晩の我案首を示し之淺見を以て書々
たる廟議に関する義を聽りに論説仕たし此事
戰慄恐懼の極へざれ共御微衷を表し有志の端
君子に雪若眼を向る私の愚能曲直を正さん事を
乞んと欲する為なり

明治九年七月十三日　　兒玉貞勇謹言

十号

松島着手之稽横見込
第一　開拓人の竭力を養ふ
第二　伐木
第三　開墾場を確定する事
第四　御臺場建設
第五　素材を他に移出する事
第六　土地開拓の事
第七　置場を定る事　新田治水を驚嘆する事
第八　民間を管し雜国に及ぶ事
第九　急務に処し処置する事
第十　作物し開業
第他山川丘陵に業し運ぶ事

3-1533
0214
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

拙者上言致迂生不才鄙賤之身を以て方今國事之
猥急施設に第後常素より愚存を述べきに能はずして只
ふ時に事を速成に成はは戮慄恐懼の堪なき四方の國事に
得共國家稽盧之一助と存じ候を期止候ては是又本
懷ふ覺て止事を得ざる故を表し候ハ即ち竹島の西小
に方なる松島と云ふ一嶋に事あり鄙生去三年嘉永
霞領ウラジワストック」へ三四度往返以たし候に対
甚無度遠見せ〜ふ一塊の小島なれとも我
皇國に稗益ふ成へき嶋ふして却ふ南方なる小笠
原島よりも一層重要の地と申奉恐存候ふ付
我ら伝聞ふ〜一島の輔地なる自然外人に誘惑と成
彼可申哉と翹計遠慮ふ勘既ふ外人自立ふ伐未然し
能能ふて持去候事と慮有〜由承り候間先ふ当大要
を掲け速ふ以為し候也

竹島は速ふ以為し候也

我ら伝聞の北ふ在る松島を南小九を五六里東西二
三里の一孤島ふて海上より一見を為るに一本の人
参ふし此松嶋と称嶋は共ふ日本と朝鮮との間ふ在
まどを竹嶋ハ朝鮮ふ近く松島を日本ふ近し松嶋の
西小に海岸は岩石壁立して断岸数百丈能者ふ能さ
るよりは近つく難如ふ在又其南の海渡を山勢海面

3-1533
0215
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

に向て漸次に平坦に属し山頂より三四哩の所に甚
幅数百間なる瀑水あれは平地の所々田畑を設け耕
作するに便あるべし又海辺諸所に小湾あれは船舶
を繋ぐべしかゝる幸路ハ杉樹繁しとして常に深緑を
呈し鐵山を有と云へり既に「ウラジヲストック」に在
留する米人「コーペル」ノ説には日本の属島に杉島と
称する一島あり未だ日本に帰属せさるとなり
日本の西海たる路を他国の所有とあさハ当国の要
を他国に授與するあり抑本島には鐵山あり巨木あ
り且漁の益鹿の益等を示少なからに予ハ此島を貸し
除きたらハ毎年大利を得んとなへり迂生又熟考するに
鹿漁の益ハ少しとなすあるべくとも只鹿漁の益
のみに能さるべしあるいハ此「コーペル」ハ今現
に「ウラジヲストック」に在り家屋廣大にして猶ほ
獨る商人ハ僅に毎三人あるに有名なる商人あれ
ども商業を営らとせに常に鐵山のみに気を用ひ専
の潜伏人を雇ひ鐵山製造らとして居るものあるに杉
島に金属あるを聞ハ聞ハあり近生両三年前より此
海を去る三四回往返して彼杉島を目撃せしに
鐵山あるや否は明かならされとも一見するに所ハ

3-1533
0216
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

鐵山又ハ〳〵且隣島巨松森〻として鬱蒼し又荒山
の不毛なれハ鐵山家の見る所ハ必ず鐵山あら
んと云ふべし然れとも近年ハ空虛定まらされハ鐵
山を以て論ずべ只希望する所ハ彼島の大木を伐り
其良材を今豎大小開港する「ウラジヲストック」の輸
出し或ハ本の美へ送りて賣却し其利益を得んと又果
して鐵山ある時は鐵山を開き漁業を捷へ開拓し
て徒〳〵 皇國の不有となさは莫大の利益と出らん
既小報解曰と雖ども強たる上は威嚇道辺出ル開港
ありて互小侵侵あるべしれは必ず松島を空道路小
して要害ありかし彼我の形勢航海中勁風小逢ひ日
数を経て艱難小至る時ハ此島ハ碇泊されハ甚
侵利ありと又「ウラジヲストック」港追日益隆盛小至
る度々れハ各國より漸小繁小至る時ハ本島小入港を免けれは
逢ひ或ハ艱難小至る時ハ本島小入港を免けれは
一港を開き鄰邦を設く度し度生れは猶り幸弱のミ
小能を各国航海家の安坦小帰し 皇國の仁恵を仰
さ 皇國の仁政を感佩すべし竟ニ不謂一挙小して
両全を得る若に〳〵て外小仁を施し内小利益を得る
あり且又日朝両国の人民毎年漂流する者頗る多し

外務省

3-1533
0217
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

此人民を助くるは日新西國の仁愛加之各国の人民を餘愛を仰ぎ　皇國を尊敬し益交際の厚きを期する為し仰き願ふ所ふ此島を開き農民漁夫を撫へ物産ふ勢力を尽さ方知るふ在り近き年来此海辺を航海する事既ふ三四度ふ及ぶに一見を為す毎ふ幸路の間港を思ひさるは為し殊ふ明治八年十一月「ウラジヲストック」に漂海せし時ハ彼島の以南より新風ふ逢ひ夜ふ入り杉島ふ碇泊事を為れ新井の衆人ふ幸茅若を書と丸時夜ふして且大風雨或ふ大雪とあり又ふ此島を見事能ふ為めふ何あらんと新井の衆人只大息を養し恐をるのみの事ふ有りつれは先づ急ふ此島ふ郷畫を設ふ有らん事を請ふ

明治九年七月　　武藤平學

外務省

3-1533

0218

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

此人民を助くるは日鮮両国の仁愛加之各国の人民を餘愛を深く　皇国を尊敬し益交際の厚きを重る為し仰て願ふ所は此島を開き居民漁夫を招へ物産の繁力を尽さ高知るを在り近年来此海辺を航海する事既に三四度に及ぶに一見を毎に幸嶋の開港を思ひさるはなし殊に昨明治八年十一月「ウラシヲストック」に渡海せし時は彼島の以南より猛風に逢ひ夜に入り松島に船入事を為れ船中の衆人手等苦を尽すと雖夜中して且大風雨或を大雪とあり又此島を又事能ともめ何あらんと船中の衆人只大息を養し恐るのみの事をなりつれは先づ急に此島に郵舎を設立のらん事を請ふ

武藤平學

或人の説に日本朝鮮松嶋を手作下さる朝鮮解り故障なんと云ふ松嶋は日本地に近く日本地にして古来本邦に属する嶋なり日本地図にも日本の版図に入れ置かれ日本地なり是竹嶋は徳川氏の中世葛藤生して朝鮮に渡りたれども松嶋の事は更に論ずるに及ばず日本に帰する事明なり若又朝鮮に故障を云ふ及遠近に於て論じ日本嶋なる事を差すべし實に日朝件未前より外国地に地に往復の要地にして方国の為なれば日朝の内より急に美港を撰び先づ燈臺を設置事今日の要務なり

3-1533
0219
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

参考

松島関係書類

外務省

3-1533

0220

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十九号

寺島宗則

松島竹島ノ二島ハ往昔隱岐國ノ管内ニシテ同國福浦ヨリ戊亥ノ方其距離四十里許ニ松島アリ松島ヨリ遠ニ離レ朝鮮ニ近キ事琉球ノ八重山ト臺灣福州ノ地ヲ見ルニ等シ伊藤長胤カ輶軒小録ニハ隱州ヲ去ル事三十里北ニ磯竹島在リト記セシハ誤スルニ足ラズ今隱州視聽合記ヲ考フルニ戊亥間行二日一夜有松島又一日程有竹島（俗云磯竹島多竹魚海藻此二島無人）地見高麗如雲州望隱州然則日本ノ最北地ハ此洲ヲ為限ト見エタレバ如其海路ノ里程ヲ推シテ知ルニ足レリ大日本國郡輿地路程全圖ニハ隱岐ノ北西北緯三十八度ニ松島竹島ノ二島ヲ載ス竹島ハ朝鮮ノ方ニ位置シ松島ハ隱岐ノ方ニ位置スホ戸人長久保赤水カ唐土歷代州郡沿革地圖中亜細亜小東洋圖ニモ竹島松島ノ二島ヲ載セ大日本四神全圖ニハ朝鮮淮陽府江城ノ東海地緯三十八度ニ竹島アリテ又東南同緯度中隱岐ノ方ニ松島ヲ載セホウリルロソクト記セシハ洋人ノ呼ベル島名ナルベシ此國ハ松島ヲ大ニシ竹島ヲ小ニスレトモ他國会竹島ヲ大ニシ松島ヲ小ニス

外務省

大御國環海私圖ハ何人ノ著圖ナルヲ知ラズ隱岐ト朝鮮ノ間ニ松竹二島ヲ載セ高田屋嘉兵衛ノ商航朝鮮海ニ出テ暇度地ニ乗ルトキハ下ノ関ヲ出帆シテ戊亥十八里ヲ流シ松竹二島ノ間ニ出轉シテ丑寅ヲ目當ニ乗リシニハアラズヤト同書ノ自註ニ記セリ宮崎柳條カ彩訂日本輿地全圖ニハ竹松ノ二島ヲ朝鮮ニ接スルニ似タリト雖視聽合記ニ所言ヲ以テ考フレバ松竹ノ二島アルハ

3-1533
0221
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

勿論ニテ強チニ松島ハ竹島ノ別名トモ定メ難キ故

右管見ノ一二愚按ノ崖略御参考ノ為電覧ニ供ス候

八月六日

加田諸遠

外務省

3-1533

0222

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第廿号

閉鎖部北警戒分ニ当ル
為ノ由ナリ

松島閑拓願

ノ村輪蔵
高橋七郎ニ為

3-1533

0224

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

願

私儀一昨九年十二月中松島港拡張願書提出仕候書面市原宗七郎殿再願仕候来本年六月中長崎縣ヨリ右村編小路成尚港ト為唱用就ては右松島ニ近接僅ニ壱町半ノ海上ニ浮島有之現ニ国幣社ノ鎮座ス其一ツ巨木繁茂シ和形ニ屈曲シ殆ト一港ノ如キ且渓擺之ヲ囲ミ其外ニ又小島アリ自然ト帆柱ニ被成度実地ニ臨検仕候ニ付テハ此度ノ願ニ上ル拡張ノ儀ハ

右願ノ通ニ相違ナシ

明治十一年八月十日

長崎縣下第九大区四小区

肥前国彼杵郡神代

村百姓八番地

下村輪八郎

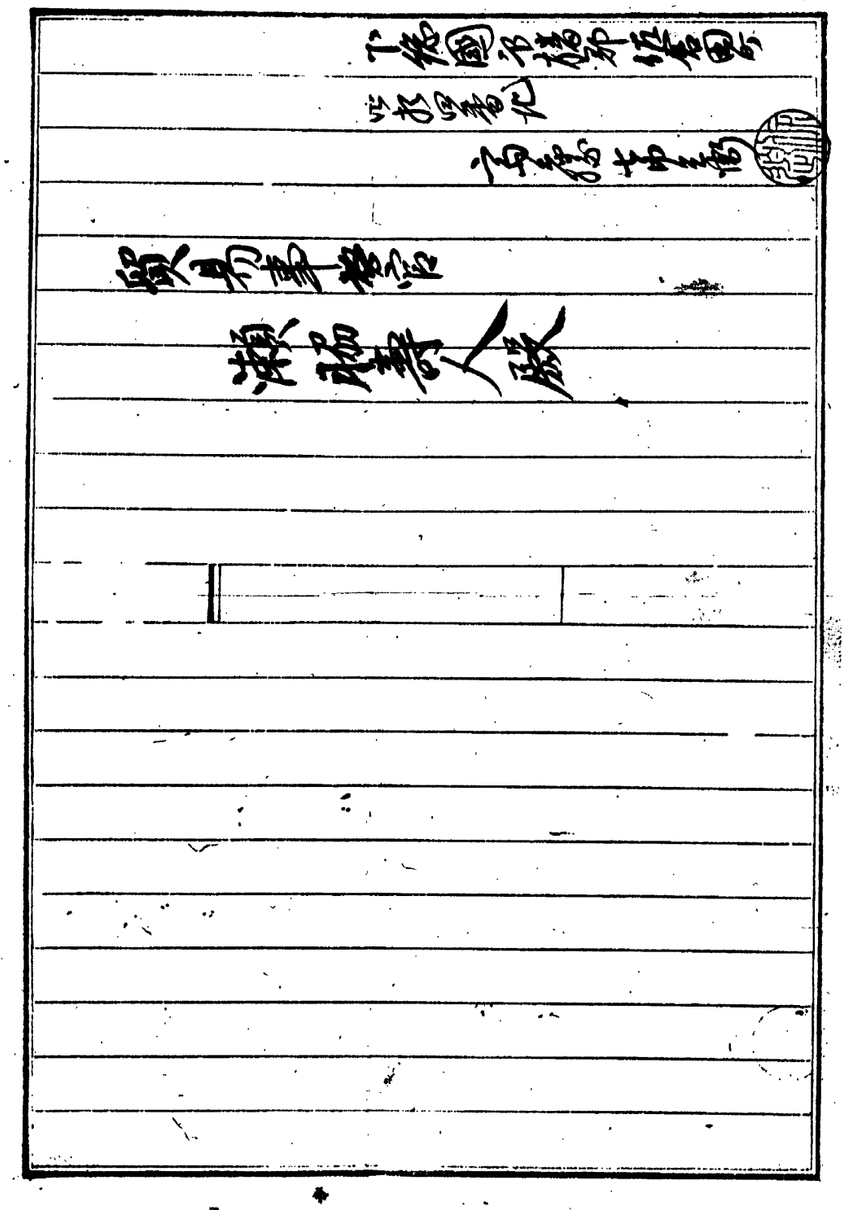
代理人

長崎縣下第十大区六小区

3-1533

0225

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0226

3-1533

記録局長　渡邊洪基

外務省

3-1533

0227

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

外務省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0228

3-1533

第廿号

松島巡視要否ノ議

公信局長 田邊太一

甲子日開港ノ略定リテ而後今日視察ノ要否ヲ論スヘシ閣ク力如キハ松島ハ独邦人ノ命セル名ニシテ其実ハ朝鮮蔚陵島ニ属スルモ于山ナリ蔚陵島ノ朝鮮ニ属スルハ旧幕府ノ時一蕃藩ヲ生シ文書往復ノ末ヨリ沿ラ我有トセサルヲ約シ載テ両国ノ史ニ在リ今故ナク人ヲ送テコレヲ巡視セシムル陽ニ侵略スルヘク類シ我ト韓トノ交漸ク篤シクトイヘトモ猜嫌猶未全ク除カサルニ際シ必ス一挙ヲ以テ再ヒ一隙ヲ開カンヲ恐ル交際家ノ忌ム所ナルヘシ況ンヤ美或ハ震船ヲ遣ヒコレニ赴ムクルヲ又尤彼ノ忌ム所ナルヲヤ假今該島ヲ韓藩ニ属スルトモ南北人島ヲ南北ノ蕃ヲ誠ニ誠ニ其宜ニ非サルヲ論スル況今ノ務方ニ関係ノ緊要スルニヤリ舞シ為テコレヲ接スル計ノ得ルモノナラス松島ヲ開クハ純ワス又南クハ蝦夷ヲ開クハ純ワス巡視スルモ亦ノ得ルモノナラス況ンヤ況実ノ確サルヲヤ況ンヤ巡視ノ後ニ非サレハ定ル能ワス乙云開港ノ略ハ視察ノ後ニ非サレハ定ル能ワス今其実ヲ視スル只ニ嘉徒上ニ擬議スルハコレヲ可ト

太政官

御決定ニ付松島ノ件甲乙両丁ノ内乙ニ決ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0220

3-1533

イフベキヤラス況ンヤ我近海ニアリ我民ノ往ノ地ニ航
スルモノ[redacted]ノ落地ニ航スルモノ必由ノ道タレハ其[redacted]
地ノ状形恐サズシテコレヲ不問ニ措ク我君様ノ書サ
ンニ愛シ故ニ該島ハ勿論所謂竹島ナルモノモ亦必視
シテソノ今日ノ状ヲ詳知スベキ必視ハ必要スル所ナリ
サレトモ黄震等ノ船ヲ雇ヒ僅ニ一日半日ノ碇泊ヲナシ
一人二人ノ官吏上陸検査スルトモ善ニ表事ナキハイフ
ヲマタス●且今ヨリ失フテハ再ビスベカラサル極金ナリ
トイフマテニモアラサレハ西南勦定ノ後海軍モ若シ
用船ノ時アルベケレハ其時ニ至リ測量製図ニ熟
セル海軍士官ト[redacted]意南洋ニ明カナル士官トヲ派遣
シテコレヲ捨セシヲ而後コレヲ古図ニ徴シ古文書ニ
照シテ初メテ竹島ノ竹島ノ一科ナリヤ果テ于山
ナリヤ又別ニ一ノ無主地ナリヤヲモ定得ヘシ将後事柄
重シテ和蘭ノ者ニヲモ考得ベシ故ニ此ノ後ニアラ
サレハ南蛮ノ誘ヲ定メヤタシ[redacted]竹島ニ必視セサル
ベカラサルニ然レトモ浦賀氏ノ議ノ如キハ極テコレヲ
可トセス及将ニ它日ヲ該アルハレ
而シテ英国初向ニ露国ノ東部ノ領地ヲ侵ス者
平海ハ郭ニ一ノ海軍屯所ノ地ヲ要セントスルノ論アリ

太政官

3-1533
0231
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

杉島寺ノ如キ或ハ波ガ注目スル處タルモ知ルベカラズ且
両頃国皮船シハヒヤヒ嫌ヲ拂地ニ飯ヤウト事ハ我決
官奉独居ラサレバ何ノ地ヲ飯ヒセンヤヲ知ル由ナシ或
ハ頃国ヲモ頃ノ巴沢セレノレイ如キトモ信シカタシサレハ
今ニモ美ヲ仮或ハニワヲズトモ他ヨリ頃島ニ赴キ云ヘノ
論アルトキ一切知ラズト答ヘレハ頃ル但悦ナキアタワス
存ル所都合ナルモノナリ故ニ今日ノ果ハ中乙ノ所論
ノ如キ南京寺ノ論ニ陥ラス卿ニテモ頃島ノ現状
ヲ知ルヲシ名義トセヤリ故ニ誰ニテモ其地ヲ見沢スヘ
キノ理アルモノ何ノ所ニテモ異国ノ飯ヲ甘ンシ寄投セシ

太政官

トイフモノアレハコレヲ許ス（ヒヒヒヒ森ヲ）ナリトイヘトモソノ効ヲ収
ムルモノハ只ニ近ル所ハシニ止ルモノナルハ計
量上多費ヲ要シテ一ハ必トセス決クハ此効ヲ収ムル
其ヲノ費アルヘキヲ業ニ若干金ヲ内務ヨリ付シ頃
内ノ民ヲ此事ヲナスヘキヲ命セハ計ノ得ルモノニ数ヲシ
和邦人ノ国ノ那ニ拾シ拂地ニ至リシトヲ拂政府ノ猜
疑ヲ惜サントノ思慮ハナキニアラズトイハトモ頃島ニ在ル
佛民（俗名ヒヒ）和人ト外国人トヲ区別スルノ眼
時モアルマジケレバ断然文清ノ徳ハ於ケハ協得ヲ
生セサラシメヲ信ス

3-1533
0232
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二十三号

丁

閑ヲ松島ハ我邦人ノ命ゼル名ニメ其実ハ朝鮮蔚陵島ニ属スル千山ナリト蔚陵島ノ朝鮮ニ属スルハ旧政府ノ時一葛藤ヲ生シ文書往復ノ末永ク退テ我有トセサルヲ誓ヒ載テ両国ノ史ニ在リ今故ナク人ヲ遣テ之レヲ窺視セシム之レ他人ノ寶ヲ数フトイフ況ンヤ滅亡ヲ侵越スルニ類スルヲヤ今我ト韓トノ交漸ク厚ク我クトイヘ共猜嫌未タ全ク除カサルニ際シ如此一挙ヨリシテ再ヒ一隙ヲ開カンヿ如モ妄除家ノ忌ム所ナルベシ今果シテ閑クノ如クナランニハ漸然松島ヲ開クハカラス又松島ノ未タ他邦ノ有ニ属セサルモノタル到然タル曖昧ナルモノナレハ我ヨリ朝鮮ハ使臣ヲ派スルニ除シ海軍有ヨリ一艘ノ艦ヲ出シ之レニ投シ測量製図家及生産開物ニ明カナルモノヲ撰ヒ殖産主地ナリヤモ速メ利益ノ有無モ慮リ後チ徐ロ地ニツキ漸ト採掘ヲ計リ偖今一小島タリトモ我北門ノ関鍵ニ置クベカラサルヲ告ケテ之レヲ開クニカザランカ故ニ漸服式ノ建言スル所採ル所ハサルナリ

外務省

3-1533

0233

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

3-1533

0234

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

松島之議

松島ト竹島即チ韓名蔚陵島ハ闕ノ所ニ倚ルニ一島二名ナルカ如シトイヘドモ旧鳥取縣令ニ聞クニ全ク二島ノ由ヲ認メ又戸田敬義カ藏書金森鎌ナル人ノ書ニ隠岐國松島西島（松島ノ一小島ナリ土俗呼テ次ヨリ海上道規凡ソ四十里許北方ニ一島アリ名ヲ竹島ト云フ云々又伯刈米子ヨリ竹島迄海上道程百四十里許アリ米子ヨリ出雲ニ出テ隠岐ノ松島ヲ経テ竹島ニ到ルナリ但レ隠岐ノ福島（一名福浦）ヨリ松島迄海上道程六十里許松島ヨリ竹島迄四十里許云々又竹島ヨリ朝鮮ヘ海上道規四十里許ト云此説ハ享保九年昔屢渡海セル一老叟ニ詰問セラレレ時其答ニ伯刈會見郡濱野目三柳村ヨリ隠岐ノ後島ヘ三十五六里アリ此遠見ノ考ヲ以テ竹島ヨリ朝鮮山ヲ見レハ少レ遠ク見レハ凡ソ四十里許リト云フニ因ル云々是ヲ以テ考ユレハ二島アル事瞭然タル、カ如シ洋書ニ就テ按スルニ英ノインマリヤー（クダビラト吾ス）ルガセットルニダケレッド島即松島ハ日本海

外務省

ノ一島ニシテ日本島ト朝鮮半島ノ間ニアリ其
西北點北緯三十七度二十五分東經ダリーンチ
ノ百三十度五十六分一千七百八十七年ラペル
イツテヨリ
ーズノ名クル所同國九里海岸ハ絶壁之ヲ境レ
其最高處ニ至ルマテ樹木森々タリ又リソピン
コワト著プロナンレンジガセツテル、ラフ、ゼ、
ツーレ、ドニクダゼラリ日本海ノ小島ニシテ
日本朝鮮ノ殆シト中間ニアリ周圍八里北點北緯
三十七度二十五分東經百三十度五十六分トア
リ之ヲ地圖ニ徵スルニ英海軍測量圖ニ載スル
所ダセラ即チ松島ト題セル者其地位ニ書ニ載
スル所ノ如シ英ノロヤールアトラス併ブルー
エ、ノ大圖英女王地理案ゼイムスウイルド、ノ日
本朝鮮圖日耳曼ヲーペルス亜細亜圖千八百七
十五年ゴフタ、ノスチールスノアトラス、ウアイ
マル、地理局ノ圖皆ナ同地位ニダゼラ島ヲ置
キ英測量圖ニハ點線以テ限ルモノ、外ハ東經
百二十九度五十七八分北緯三十七度五十分ニ
アルゴナ島ト即竹島ト題シタル者ヲ置ク魯西
亞ノ地圖局ノ圖ニモ同處ニ之ヲ嵌カニ置ク又

外務省

3-1533
0236
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

金森譲ノ書ニ竹島周囲大凡十五里ニアリ又戸田敬義ノ図和船ノ測量ヲ総ヲスレハ二十三里餘トナル（尤曲屈出入去レハ彼松島即チタセラ合セ沿岸）島ノ周囲ト異ナル事少々ナラス而レテ図中南隅ニ一里半周囲ノ一島ヲ載ス是千入島ナルベレ真図ニ就テ測量スルニ隠岐嶋ヲ松島竹島朝鮮ノ距離凡ソ符合スサレハ松島竹島ノ二島ナルハ殆ント判然タリ唯我國ノ書ニ竹島ノ事ノミ多クシテ松島ノ事ナキハ大小貧富ノ差ヨリノ竹島ニ往来スルノミニシテ且朝鮮トノ争論モ

外務省

竹島ニノミ関係シタル故ト思ハレ、英島ノ外國認ムル処ヲ図ニ徴サレハ英國ノ諸図ハ對馬島ト合セテ朝鮮ノ色トシ併モ亦同シ日耳曼ゴタ、スチーレルスノ図ニハ對馬ト合セテ日本色トレ唯ウアイマルノ地理局図ノミ對刈ヲ以テ日本色トシ松島竹島ヲ朝鮮色トスヘ英佛ノ對刈ヲ合セテ朝鮮色ニセレハ對刈既ニ日本版図ニ相違ナケレハ隨テ松島竹島モ其色ヲ変セン即チスチーレルノ図ハ英結果ナルベシ況ンヤ松島竹島ヲ以テ傳フ其語ハ日本語ナリ図テ考フレ

3-1533
0237
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ハ決島ハ暗ニ日本所屬ト見做シタルナルヘシ
偖我國ト朝鮮トノ関係ヲ論スレハ旧幕府無事
ヲ好ムヨリ竹島ヲ以テ唯彼地図ニ蔚陵島ト均
シキト其地ノ遠近ヲ以テ朝鮮ニ譲與セリト雖
トモ松島竹島二島アリ松島ハ竹島ヨリ我近キ
方ニアレハ日本ニ屬シ朝鮮又異論アル能ハス
而シテ其緊要ヲ論スレハ同島ハ殆ント日本ト
朝鮮ノ中間ニ位シ我山陰ヨリ朝鮮咸鏡道永興
府即チラサレノ港トノ航路ニ當リ長崎ヨリウ
ランラストツク陸航船必ラス近ツク所緊要ナ

外務省

ル所謂竹島ニ教信ス故ニ今英魯等ノ類リニ注
目スル所トナレリ而シテ各國ノ認ムル所是ノ
如シ然ルニ我國ニテハ松島竹島二島一峙ノ事
判然ナラス隨テ朝鮮ニ屬スル哉否ヲモ知ラサ
ルナリ若シ外國ノ問ニ逢フ又答フル所ヲ知ラ
ス若我物トセン欲之ニ関スル義務ナカルヘカ
ラスヲ朝鮮ニ帰セン欲又外國ニ注意セサル
ヲ得ス是再考スル所以ナリ

渡邊洪基述

3-1533
0238
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

松嶋之議

昔者竹嶋ノ記事略説多クシテ松嶋ノ事説論スル者ナシ而テ今者人松嶋ニ喋々ス然リ而テ此二嶋或ハ一嶋両名或ハ二嶋也ト諸説紛々朝野其是非ヲ決スル者ヲ聞カス彼竹島ナル者ハ朝鮮ノ蔚陵島トシ幕府偷安ノ議遂ニ彼ニ委ス故ニ此所謂松嶋ナル者竹嶋ナレハ彼ニ属シ若竹嶋以外ニ在ル松嶋ナレハ我ニ属セサルヲ得サルモ之ヲ決論スル者無シ然ルニ松嶋ナル者我國ト朝鮮トノ間ニ位シ長崎ヨリ浦潮港ニ至リ馬関其他石列因列伯列穂岐ヨリ彼要地タルラザレフ港ヘノ道ニ當ルヲ以テ頗ル要地ト為シ連綿此近傍ニ英魯其船艦ヲ出製ス若シ夫我國ノ部分ナラシニハ之ニ多少ノ注意無ル可ラス彼國ナラン歟又保護ヲ加ヘサル可ラス況ンヤ他國我ニ仇スヽ之ニ答フルニ決辞ナキヲ如何セン然ラハ則無主ノ一島ノミ諸書ニ就テ案スルニ竹嶋洋名アルゴナウト嶋ナル者ハ全ク島有ノ者ニシテ其松島デラセ嶋ナル者ハ本来ノ竹

外務省

3-1533

0239

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

嶋即チ蔚陵嶋ニシテ我松嶋ナル者ハ洋名ホル子ツトロツクスナルカ如シ然ルヲ洋客竹嶋ヲ認テ松嶋ト為シ更ニ竹嶋ナル者ヲ想起セシ者ノ如シ而テ其ホル子ツトロツクスノ我國ニ属スルハ各國ノ地図皆然リ他ノ二嶋ニ至リテハ各國其認ムル所ヲ同フセス我國論又確據無シ是實ニ其地ノ形勢ヲ察シ其所属ノ地ヲ定メ而テ其責ニ任スル所ヲ両國間ニ定メサル可ラサル者タリ因テ先ツ嶋根縣ニ照會シ其後未ノ習例ヲ紀シ併セテ艦艇ヲ派シテ其地勢ヲ見若シ彼既ニ著手セハ其事跡ノ模様ヲ実査シ然ル後ニ其方略ヲ定メント要ス請フ速ニ株リテ議スル者アラン事ヲ伏望ス

渡邊洪基立案印

外務省

鄙生嘗テ瀬脇君ノ露港雜誌武藤氏ノ同港記聞ヲ閲見シ且其景況等傳聚スルニ殊更感覺興起スルノ条件ハ即チ我カ皇國西北ノ偽嶋松島ナルモノナリ熟々惟ミルニ今ヤ閑國ノ際ニ當テ各國ノ交際日ニ篤厚ニ進ミ月ニ隆盛ニ赴ク ニ從テ國事百般自ラ冗費モ尠カラス國産ノ輸出モイマタ盛大ニ運ハス國債モ亦解消スルニ至ラス嗚呼コレ全國一般ノ憂患ニシテ之ニ過越スル大患ナシ是ヲ神フハ冒國强兵ニ在リ冒强ノ基礎ハ仁恤ヲ施行シ萬民職事ニ尽カシ物産ヲ興隆シテ國家ノ稗益ヲ計ルニアリ其事ヲ行フ哉又緩急前後ノ別ナキ事能ハス故ニ鄙生從来此ニ着目シ日夜心膓ヲ碎キ孜々トシテ其要務ヲ索覓シ國家萬分ノ一ニ報イント欲スレトモ如何セン短才不肖且微力ニシテ更ニ猷リ為ス所ナシ即今武藤氏松島ノ建白ヲ無聞スルニ其看予ノ順序以往ノ方向普ク至リ盡セリト云フベシ実ニ方今ノ急務ニシテ擯斥シ難キ要件ナリ一日ヲクルレハ一日ノ損害ヲ生スル

外務省

3-1533

0241

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ至ラン可謂先ズル時ハ人ヲ征ス彼ノ南方ナル小笠原嶋ノ如キモ既ニ着手ノ期ヲ稍失スルニ似タリ而シテ此島嶼ニ比較スレハ松島ハ一層ノ要島ナレハ速ニセズンハ有ベカラス如何トナレハ北方ナル寒國人ノ覘候覬覦ニ陷ラン事ヲ痛ム寔ニ至テ悔ルトモ及ハズ仰キ願クハ同氏之建議賢明之英斷ヲ以テ只管御裁用且速ニ御着手被為成度ト竊ニ企望イタス所ナリ固ヨリ卑賤ノ我輩苟モ不明之淺見ヲ以テ堂々タル廟議ニ関スル義ヲ猥リニ論説イタシ候事戦慄恐懼ニ堪ヘザレ共聊微衷ヲ表シ有志ノ諸君子ニ其著眼スル所ノ是非曲直ヲ正サン事ヲ乞シト欲スルナリ

明治九年七月十三日　兒玉貞易謹言

外務省

3-1533

0242

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

松島著手之搭搆見込ミ

第一　開拓人ノ蝸屋ヲ営ミ

第二　伐木

第三　開港場ヲ確定スル事

第四　燈臺之建設

第五　良材其他ヲ輸出スル事

第六　土地開拓之事

第七　置場ヲ定メ船用諸品ヲ蓄藏スル事

第八　民屋ヲ営ミ殖民ニ及フ事

外務少輔

第九　魚猟之用意ニ取リカヽル事

第十　作物之開業

其他山川丘陵之業ニ運フ事

3-1533

0243

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

謹而上言ス迂生不才鄙賤之身ヲ以テ方今國事之緩急施政ノ前後素ヨリ察知スヘキニ非ズレテ只不明之事ヲ建白候ハ戰慄恐懼ニ堪ス幾回カ閣筆候得共國家強盛之一助ト存込候ヲ黙止候テハ是又本懷ニ無之上事ヲ得ス誠衷ヲ表シ候ハ即チ我カ西北ノ方ナル松島ト云フ一嶋之事ナリ鄙生両三年前ヨリ露領「ウラジワスト」ヘ三四度往返イタシ候ニ付其毎度遠見セシニ一塊ノ小島ナレトモ向来皇國之稗益ニ成ヘキ島嶼ニシテ却テ南方ナル小笠原島ヨリモ一層專務之地ト乍忽被存候然ルニ一宇之住民ナク一箇ノ耕地ナシ自然外人之洪益ト成行可申哉モ難斗遺憾不勝既ニ外人自在ニ伐木致シ船舶ニテ持去候事モ屢有之由乗リ候間危ニ其大要ヲ掲ケ建白イタシ候也

我カ隠州ノ北ニ在ル松島ハ南北凡ソ五六里東西二三里ノ一孤島ニシテ海上ヨリ一見スルニ一宇ノ人家ナシ此松島ト竹嶋ハ共ニ日本ト朝鮮トノ間ニ在レドモ竹島ハ朝鮮ニ近ク松島ハ

外務省

3-1533
0244
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

日本ニ近シ松嶋ノ西北ノ海岸ハ岩石壁立シテ
斯岸数百丈飛鳥ニ非ルヨリハ近ツクベカラ
ス又其南ノ海濱ハ山勢海面ニ向テ漸次ニ平坦
ニ属シ山頂ヨリ三四分ノ所ニ其幅数百間ナル
瀑水アレハ平地ノ所ニ田畑ヲ設ケ耕作スルニ
便ナルベシ又海辺諸所ニ小湾アレハ船舶ヲ繫
クベシ加之本嶋ハ松樹鬱々トシテ常ニ深緑ヲ
呈シ鑛山モ有ト云ヘリ既ニ「ウラジヲストック」
ニ在留スル米人「コーペル」ノ説ニハ日本ノ属嶋
ニ松島ト称スル一島アリ未タ日本ニテ着手セ

外務省

サルト聞ケリ日本ノ所轄タル嶋ヲ他國ノ所有
トナサハ其國ノ寶ヲ他國ニ授與スルナリ抑本
島ニハ鑛山アリ巨木アリ且漁ノ益樵ノ益等モ
亦少カラス予ニ此島ヲ貸シ給ハヽハ毎年大利
ヲ得ント云ヘリ迂生又熟考スルニ樵漁ノ益ニ
モ多分ナルベケレトモ只樵漁ノ益ノミニ非
サルベシ如何トナレバ此「コーペル」ハ今現ニ「ウ
ラジヲストック」ニ在リ其家屋廣大ニシテ彼ニ
勝レ商人ハ僅ニ両三人ナル程ノ有名ナル商人
ナレ共商業ヲ專ラトセス常ニ鑛山ノミニ心ヲ

3-1533
0245
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

用ヒ多クノ滿洲人ヲ雇ヒ鑛山ヲ專ラトシテ居モノナルニ松嶋ニ金屬アルト唱フレハナリ近生両三年前ヨリ此海上ヲ三四回往返シテ船中ヨリ松島ヲ目擊セシニ鑛山アルヤ否ハ明白ナラサレトモ一見スル所ニテハ鑛山モ有ヘシ且滿島巨松森〻トシテ繁茂シ又尤山ノ所モアレハ鑛山家ノ見ル處ニテハ必ス鑛山ナラントミルベシ然レトモ近生ハ其鑛定ヲ知サレハ鑛山ヲ以テ論セス只希望スル所ハ彼嶋ノ大木ヲ伐リ其良材ヲ今盛大ニ開港スルウラジヲストックニ輸出シ或ハ下ノ関ヘ送リテ賣却シ其利益ヲ得ン又果シテ鑛山アル時ハ鑛山ヲモ開キ漁農ヲ植ヘ開拓シテ往々 皇國ノ所有トナサハ莫大ノ利益トナラン既ニ朝鮮國ト条約ヲ結タル上ハ咸鏡道辺ニモ開港アリテ互ニ往復アルベケレハ必ス松島ハ其道路ニシテ要島ナリ加之彼我ノ船舶航海中難風ニ逢ヒ日数ヲ経テ蕭水ニ乏シキ時ハ此島ニテ碇泊スレハ甚便利ナリ且又ウラジヲストックニ港追日益隆盛ニ至ルベケレハ各國ヨリ諸品輸出入ノ航海家モ難風

外務省

ニ逢ヒ或ハ薪水ニ乏シキ時ハ本島ニ入港スヘ
ケレハ一港ヲ開キ燈臺ヲ設クヘシ尤スレハ獨
リ本朝ノミニ非ス各國航海家ノ安堵ニ帰シ
皇國ノ仁意ヲ仰キ　皇國ノ仁政ヲ感佩スベシ
是レ所謂一挙ニシテ両全ヲ得ル者ニシテ外ニ
仁ヲ施シ内ニ利益ヲ得ルナリ且又日朝両國ノ
人民毎年漂流スル者頗ル多シ此人民ヲ助クル
ハ日朝両國ノ仁愛加之各國ノ人民モ餘愛ヲ得
テ　皇國ヲ尊敬シ益交際ノ厚キニ至ルヘシ仰
キ願フ所ハ此島ヲ開キ農民漁夫ヲ植ヘ物産ニ

外務省

精力ヲ尽サレムルニ在リ近生両三年来此海上
ヲ航海スル事既ニ三四度ニ及ヒシニ一見スル
毎ニ本鳴ノ開港ヲ思ハサルハナシ殊ニ昨明治
八年十一月ウラジオストックニ渡海セシ時ハ
彼島ノ以南ヨリ難風ニ逢ヒ夜ニ入リ松島ニ觸
シ事ヲ恐レ船中ノ衆人千辛萬苦スレトモ暗夜
ニシテ且大風雨或ハ大雪トナリ更ニ此島ヲ見
事能ハス如何アラント船中ノ衆人只大息ヲ発
シ黙スルノミノ事モアリツレハ先ツ急ニ此島
ニ燈臺ヲ設立アラン事ヲ請フ

3-1533
0247
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

明治九年七月　　武藤平学

或人ノ説ニ日本ヨリ今松島ニ手ヲ下サハ朝鮮ヨリ故障ヲ云ントイヘルカ松島ハ日本地ニ近クシテ古来本邦ニ屬スル嶋ニテ日本地同ニモ日本ノ版図ニ入レ置タレハ日本地ナリ且又竹島ハ徳川氏ノ中世葛藤ヲ生レテ朝鮮ニ渡シタレトモ松島ノ事ハ更ニ論ナケレハ日本地ナル事明ナリ若又朝鮮ヨリ故障ヲ云ハヽ遠近ヲ以テ論シ日本嶋タル事ヲ證スヘシ實ニ日朝往来ニ外國船北地ニ往復ノ要地ニシテ万國ノ為ナレハ日朝ノ内ヨリ急ニ良港ヲ撰ヒ先ツ燈臺ヲ設ル事今日ノ要務ナリ

外務省

3-1533
0248
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp